



Iheya_island
伊平屋村

2019



No.320

よ な みな ゆう ね
與那嶺結音ちゃん



せ ら が き
瀬良垣ゆあちゃん



な か じょう の す け
名嘉晟之介くん



な か ち しょう き
仲地生喜くん



クープマンエドワード
やまと
大和くん



み や は ら い つ き
宮原樹くん

に し め か ん た
西銘栞汰くん



た か ら は る ま
高良栄希くん



な か
名嘉みゆりちゃん



が ぶ と わ
我部永和くん



Happy New Year !



か わ か み そ う た
川上蒼汰くん



て る や ゆ う し ん
照屋結心くん



う え は ら こ こ な
上原心菜ちゃん



年頭のあいさつ

伊平屋村長 伊礼幸雄



村民の皆様、明けましておめでとうございます。

村民の皆様には御家族お揃いで、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

亥年は、十二支の最後の干支に当たります。亥は世論の荒波に向かい猛進していくといわれています。村民の暮らしが豊かになり、村民自らの創意工夫によって夢と希望と活力に満ち溢れることに期待したいと思っております。

伊平屋島観光協会が設立（法人化）され、観光交流産業の総合窓口として、村総合推進室、村商工会との連携を密にし、民泊を受け入れる民家（民泊）の掘り起し、戸数の拡大を図り、一定規模の団体等を受け入れできる状況となってきたことは本村にとって喜ばしいことであり村の施策が一步一步着実に成果として表れています。商工会が管理運営している伊平屋村産業連携拠点センターを村の商業の拠点として、若者の結婚披露宴の場として、村の観光交流産業の玄関として、大いに活用してほしいものです。

さて、平成三十年は台風二十四号、二十五号の襲来により農作物や家屋、道路の損壊等大きな被害をもたらしました。村民の皆様方におかれましては大変ご苦労をお掛けしております。一日も早い復興に努めてまいります。

J A おきなわ伊平屋支店の製糖工場も年内操業を開始致し、にわかに活気づいてまいりました。新製糖工場が平成二十九年から三十一年事業で採択され総事業費五十一億で一部工事発注されています。ぜひ村民の皆様方はじめ、さとうきび生産農家の皆様には新しいシステムの性能向上に期待をしてほしいと思います。玉ねぎの農家も緻密な努力によって伊平屋ブランドとして浸透して来たことは、評価したいかぎりです。

村の一大イベントであるムーンライトマラソンは、天気とにらめっこしながらの開催ですが、第二十四回伊平屋ムーンライトマラソンも第二十回大会の中止の

影響が少しずつ改善され、事務局（総合推進室）や関係者の努力の結果が実を結び、天気にも恵まれ、参加募集人員も千名をクリアしました。全体的には大成功に終わることが出来ました。村民の皆様あらためてありがとうございますと心からお礼申し上げます。

公共工事については、発注件数・委託・工事も含め、十九件、発注高で二十一億九千万となり、順調に推移している状況にあります。ここに一括交付金の運用が表れています。

本村の二大交通網、海と空の交通アクセスについては、フェリーいへやⅢの就航により、利便性の確保と快適な船旅を村民始め県内・国内の方々からも評価を受けている状況で、一人でも多くの皆様方の来島を期待するところであります。

空港については、平成三十二年採択に向け調整を行っております。三十二年採択の理由は国の方針で四十七都道府県一空港が基本であり、那覇空港（第二種）の完成が終わらないと新しい空港の採択もしいとの国の方針が示された、棚上げされた状況になっています。ただ、時を待つのではなく私達の先人や先輩の皆様が夢に描いたものを形にすることが現代社会にいる私達の責務ととらえ頑張っております。

本村の人材育成は教育委員会・村内三校が「人材を持って資源となす」を合言葉に実践的な取り組みを展開し学力の底上げ等、島発ち教育の方向がしっかりと示され、東大塾・てるしの塾（一括交付金や人材育成事業）等の活用により一層確かなものになり、一定の成果が表れてきたことは明るい材料と捉え三校の先生方が常に切磋琢磨することに期待します。又、伊平屋小学校のすべての施設が新装オープンし、より一層教育環境の整備が整い、児童の諸活動に拍車がかかることも期待しております。

引き続き村の課題である少子化対策・定住促進・人材育成・福祉の向上に行政・議会・各団体と調和を図り、幼小中の児童生徒が誇れる活力満ち溢れる住みよい「人づくり・物づくり・村づくり」を実践して参ります。

そのためには、村民の皆様のご意見ご提言が大きな力となります。重ねて、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。村の発展と村民の皆様様の御健勝と御多幸を願い、新年のあいさつと致します。

平成三十一年一月一日

新年のごあいさつ

伊平屋村議会 議長 金城信光



二〇一九年、村民の皆様、新年あけましておめでとうございます。（新玉ぬ、年に炭と昆布かざで。心から姿、若くゆさ）議会を代表し新年のごあいさつ申し上げます。輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は七月に西日本を中心に甚大な被害をもたらして豪雨災害がありました。被災された皆様に対しまして心よりお見舞い申し上げます。

村民の皆様には日頃より伊平屋村議会に対し、ご意見、ご指導、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。去った、平成三十年九月の議員の議長選挙において、第二十三代目の議長職に就任し、日々議会運営（活動）にスピード感をもって議員の皆様と共に全力で取り組んでいます。旧年中は、村議会活動への温かいご理解ご協力を賜り、円滑な議会運営を遂行することができました。心より感謝を申し上げます。

戦後七十四年と沖縄県が本土に復帰して四十七年という節目として私達議員にも新たな時代と感覚とビジョンを持つて、一役を担っていくことが求められております。伊平屋村議会と致しても、しっかりと任期四年間、村民の発展と村民福祉向上のため様々な課題の解決に向けて、議会活動を積極的に展開して参ります。任期の四年間、最後まで使命を尽くし、その役割をしっかりと果たしつつ、これ以上に新たな感覚とビジョンを持つて、伊平屋村の住みよい村づくりのために、行政サービスの向上を目標に活気ある村づくりに議員一同全力で取り組んで行く所存でございます。引き続き村民のご理解とご協力をお願い致します。

年頭にあたり議員一同決意と結束を新たにし、村民の生の声を、一言一言を真摯に受け止め、村民の目線に立ち、行政とは常に一歩離れ、二歩離れずを基本として頑張る所存でございます。

今後とも村民のため、村発展のために農漁業振興、干ばつ対策、人材育成、民泊事業、畜産などを推進します。又、村民の所得向上など、山積みされている大きな課題について、村民の声を幅広く拝聴し、スピードを上げてしっかりと行政へ反映させていくことが議会の努めだと思っております。

結びになりましたが、新年（亥）年を迎え、村民の皆様方のご健勝とご繁栄、ご活躍を祈念致しますと共に本年も格段のお力添えを頂きますようお願い申し上げます。新年のあいさつと致します。

（二〇一九）平成三十一年一月一日

天は長く地は久し

伊平屋村 教育長 東恩納吉一



あけましておめでとうございます。村民の皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

新しい年二〇一九年は、新たな歴史を切り開く年となります。新しい天皇陛下がご即位され、元号が変わります。大正・昭和・平成にまたがり活躍された村民の方々もおられる事と思われまします。また、猪突猛進のことはおなじみの猪年でもあります。歴史的な新しい年に、村民の皆様が明るく元気で幸多き日々でありますようご祈念申し上げます。

さて、旧年は、久々に台風二十四号等が押し寄せ、農作物や家屋等甚大な被害を受ける事となりました。自然の成せる業には、私たち人間が太刀打ち出来るものではないのですが、如何なる出来事が起きても、島人の絆があれば、力強く障害を克服することが出来るものと確信しております。

昨今、豊かな時代を迎えて、電波やロボットの活躍時代がやってきました。スマートフォンがあれば、何でもできる生活やロボットが人間に変わって仕事をする世の中が現実になりました。汗水垂らして働く「親の背中を見て育つ」教育は過去の産物になりつつあるのは寂しい限りであります。

一方、地球を取り巻く環境は想像を絶するスピードで、私たち人間に悲しい試練を与え続けております。地震・津波・台風・洪水等科学技術の力を持っても対応できるすべはありません。私たち人間は、自然の一部として自然と向き合いながら歴史を創造してきたものと思われまします。この島をはじめ、地球には限りがあることを意識しながら、多少の不便さと、自然豊かな環境を守り続ける使命観を、今一度考えたいものです。

ところで、平和な我が伊平屋島の未来を切り開く大きな礎は、人材育成無しに考えられるものではありません。伊平屋村教育委員会は、「沖縄一の教育村」をスローガンにこれまでも取り組んで参りました。新しい年は、心豊かな人なりの人間力と思考力・判断力・表現力豊かな知力を身に付けさせる飽くなき取組を強力に推進します。教育は、百年の計と申します。あたらしい年も旧年同様、村民の後方支援と本村教育委員会の施策にご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

結びになりますが、天地自然の活動は永遠のごとく、どこまでも広がって伸びてゆく壮大な伊平屋島を共に創造しようではありませんか。

新年のごあいさつ

伊平屋郷友会(照るしの会) 会長 東江米男



平成三十一年猪年の輝かしい新春のお慶びを申し上げます。

伊平屋郷友会の活動に村役場と共に村民の皆様にご支援頂き、感謝申し上げます。

我が郷友会は、二月十日(土)から二月十一日(日)に沖繩タイムスビルで行われた、伊平屋村と沖繩タイムス社主催の「伊平屋村観光・物産と芸能フェア」に共催者として参加してイベントの運営に協力しました。そのイベントは大成功したといわれています。来る二月にその第二回のイベントが予定されています。

五月十五日(土)には本島に進学している高校生を激励する為に村教育委員会と共に、那覇市東町にある沖繩県離島児童支援センター「群星寮」で島発ちフォローアップ交流会を行いました。高校生の本島での生活の不安を取り除き、元氣な活動の助けになればと考えています。

七月七日には、第十六期定期総会を開催して役員を改選しました。任期は二年です。七月十四日(土)から十五日(日)のいへやまつりにも出演しています。

次に年間の主なる行事として、ムーンライトマラソンと村育英支援のための資金造成チャリティゴルフ大会を西原町の沖繩カントリークラブゴルフ場で十月五日(金)行う予定でしたが、台風二十五号が襲来したので延期しました。石川の琉球ゴルフクラブで十一月十二日に二〇五名の参加を得て盛会のもとに実施できました。ご協力いただきました会員始め協賛企業の皆様に御礼申し上げます。

次に年間行事として、会員の親睦を活発にする目的で親睦ボーリング大会を浦添市のでだこボウルで十二月三日に行いました。久方ぶりに会員相互の交流ができて良かったと思っています。この行事も八九人の参加で盛況にできました。参加者を始め協賛企業に感謝いたします。

中でも、会員にとっては伊平屋空港の早期着工と伊平屋と伊是名を結ぶ海洋架橋の実現があります。空港は着実に進められており、近く事業着手されるものと期待しています。架橋につきましては、膨大な建設費が見込まれているので、長期に渡る調査研究を要請してその夢の実現に協力できればと考えています。

伊平屋島は、海、山および耕地の天然資源の豊富な島です。伊平屋・伊是名は、昭和十四年まではひとつの村でした。昭和十五年に分村しています。昭和十五年分村時の人口は、伊是名村が三六五二人、伊平屋村が二七二〇でした。その後伊平屋村の人

寄 附

株式会社東江建設から伊平屋村へ寄附。

11月27日、株式会社東江建設の創業50周年記念祝賀会(ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城 首里の間にて)が挙行された際、株式会社東江建設 代表取締役社長 東江丈二氏より伊平屋村へ寄附金の贈呈式が執り行われた。(株)東江建設さん、ありがとうございました。



口は、昭和二十五年が三九八五人、昭和三十年が四〇〇八人と四千に到達した時代もありました。それだけの人口を養える潜在的な地方が備わっていると考えています。この島の豊かな資源を再開発して種々の事業を起こして、人口減少に歯止めをかけて、我が島が発展することを願っています。

戦後、伊平屋島は、沖繩本島に石油やプロパンガスがまだ普及していない時代に、山から薪を切り出して、燃料として供給しています。当時は、山林伐採が広く行われて、林地災害を危惧するほどでした。今は、山が密林化して、人が入山できない状態です。森林資源の開発が待たれると考えています。

伊平屋伊是名の北の近海には、有望な海底資源が埋蔵していると国の機関が海底探査船で継続して探査しています。平成二十九年には、水深約三千Mの海底から海底資源の汲み上げも試験施工しています。この先、三十年から四十年後にはそれが実用化されて、我が島が飛躍的に発展する希望がもたれます。

結びに、伊平屋村の益々の発展と村民皆様の御健勝と御多幸を祈念いたします。

平成三十一年一月一日



いへや健康福祉まつり

11/17

あなたの健康、伊平屋の財産！

住民課主催のいへや健康福祉まつりが行われた。友愛と健康の広場でグランドゴルフ大会、アグチャー線のウォーキングなど様々なイベントが行われた。子どもから大人まで多くの方々が参加。健康的な昼食も振舞われ、午後は仲里則男さん(田名出身)による「生活習慣病(メタボ)について」、金城愛さんによる「認知症サポーターって？」の講演会を行って頂いた。伊平屋村産業連携拠点センターでは野菜、手作り品などのフリーマーケットも行われた。参加者にとっては改めて健康について考える良い機会となった。



第5回本部地区交通安全協会会長争奪戦杯

11/17

老人クラブ交通安全の意識高める。

第5回本部地区交通安全協会会長争奪杯 伊平屋村老人クラブグランドゴルフ大会が友愛と健康の広場で行われた。この大会は本部地区交通安全協会が各町村老人クラブとともにっており、今回で5年目、伊平屋村では2回目となる。交通事故防止、飲酒運転根絶をアピールし、管内から交通事故による加害者、被害者を出さない、出させない安全・安心な1町4村を目指すことを目的としている。今年は同日に行われた平成30年いへや健康福祉まつりの中で行われ、グランドゴルフ前には本部地区交通安全協会岸本会長らとともに、飲酒運転撲滅をテーマにした踊りを踊った。





沖縄県建設業協会青年部会第10回フォトコンテスト～島の魅力～

11/19

フォトコンテストで優秀賞と入選！

沖縄県建設業協会青年部会第10回フォトコンテスト～島の魅力～で仲地慶師さんの2作品がそれぞれ優秀賞と入選を受賞した。コンテストは『人』の部-建設業で働く人々を題材としたもの、『造』の部-建設業が造りだす建築物を題材としたものがテーマで仲地さんは『造』の部で受賞。一昨年も最優秀賞を受賞しており、今年で4回目の受賞となる。仲地さんは受賞の際に頂いた賞金を伊平屋村社会福祉協議会に寄付した。



「めざすは2020東京五輪」(入選)



「遊覧フェリーから」(優秀賞)



2羽のコウノトリ飛来

11/18

伊平屋にいいことあるかも♪

18日、村在住の武井真澄さんより連絡を頂き、2羽のコウノトリが伊平屋島を訪れていたことがわかった。その後、19日～21日にも村民から「川や田んぼで見た！」と目撃情報が多数寄せられた。(12月10日時点、2羽ともに目撃情報あり)2016年

2月10日にも1羽のコウノトリが伊平屋島を訪れており、それ以来、約2年9か月ぶりの訪問となった。兵庫県立コウノトリの郷公園へ問い合わせたところ、兵庫県豊岡市野外人工巣塔生まれ今年で1歳のオスとメスの2羽で、沖縄県に来る前は山口県山陽小野田市で一緒にいるところが目撃されていたとのこと。『ヨーロッパでは、「赤ん坊はコウノトリのくちばしで運ばれてくる」「コウノトリが住み着いた家には幸福が訪れる」という言い伝えがあるという。コウノトリを目撃した方は「伊平屋村にいいことがあるかもね！」と笑顔で話した。

《コウノトリ観察の注意点》

コウノトリは野生動物です。観察の際は150m程離れた場所から、驚かせないように静かに見守ってください。

野甫小表敬訪問 受賞の報告

11/21

標語で沖縄県警本部長賞。

平成30年度「青少年の深夜はいかい防止県民一斉行動」作文・ポスター・標語コンテストの標語の部で野甫小学校5年の高田悠羽さんの作品「深夜には 子どもはでちゃダメ わかるよね～」が沖縄県警察本部長賞を受賞した。高田さんは先生らとともに受賞報告のため、伊平屋村役場村長室を訪れた。伊礼幸雄村長は「このように島の子どもたちが頑張っていることが新聞などに載ると、伊平屋の出身の方々は大変喜んでくれています。村長としてもとても嬉しい。来年も応募して頑張ってもらいたい。」と話した。高田さんは「選ばれてとても嬉しかったです。またいろんな標語を書いていきたいと思いました。」と話した。





離島フェア2018

11/23-25

伊平屋村をアピール！

離島フェア 2018 が沖縄セルラーパーク那覇で開催された。伊平屋村からは J A伊平屋支店、倶楽部 野甫の塩、伊平屋酒造所、漁業協同組合、パイヤ玉城（初出店）、海産物料理 海魚が出展。メインステージではちむどんキッズシアターの演舞を披露。伊平屋そば（伊平屋産モズクを使用したそば）は大好評で完売。全体としては昨年より売上が伸び、フェア後の話し合いでは来年に向けて前向きな話も行われた。



伊平屋幼稚園・小学校学習発表会

12/2

平成最後の大舞台へレッツゴー！

伊平屋幼稚園・小学校の学習発表会が伊平屋小学校体育館で行われた。学習発表会は子どもたちの自主性と創造性を伸ばす学習の総合的な表現の場であり、今年は『主役は君だ！感動と笑顔あふれる平成最後の大舞台へレッツゴー！』のテーマの下、練習に励んできた子どもたちは、ダンス、音読劇、合唱奏、体育などを堂々と披露した。





伊平屋保育所おゆうぎ会



12/1

わくわくワンダフルおゆうぎ会 ♪

伊平屋保育所のおゆうぎ会が伊平屋村産業連携拠点センターで行われた。「わくわくワンダフルおゆうぎ会」をテーマに0～4歳までの園児らが手話ソング、オペレッタ、タップリン、おどりなどを披露。観客らは子供たちの頑張る姿にカメラを向けながら終始笑顔、意外な行動に笑いが起きる場面もあった。職員や保護者らもダンスなどで会場を盛り上げた。小嶋園子所長は「個性豊かな子供たち一人ひとりをしっかりとらえ、演目を決め、「できる姿」をイメージしながら練習に取り組んだ1ヶ月でした。本番はその子なりに見せてくれた姿が、今後の成長へと繋がることを確信できました。」と話した。



平成 30 年度地域福祉講演会

12/3

これからの地域のあり方。

伊平屋村社会福祉協議会主催の平成 30 年度地域福祉講演会が伊平屋村産業連携拠点センターで行われた。沖縄大学人文学部福祉文化学科 上地武昭教授をお招きし、村民を対象にこれからの地域のあり方について「人生 100 歳時代～地域支え合い～」～自治公民館；福祉公民館構想～講演会を行い、54 名が参加した。これからさらに高齢化社会が進んでいく中で、認知症患者や家族等が参加できる「認知症カフェ」、一人暮らしのお年寄りに交流の場を作るなど地域で支え合える環境を作っていくことの重要性などについて学んだ。村社会福祉協議会地域福祉係の新城洋介さんは「村民が寄り添い、助け合い、「お互い様」の精神で地域づくりができればいいと思います。」と話した。



名護県税事務所による実務研修

12/7

県税による実務研修。



沖縄県名護県税事務所の納税班諸見里靖班長ら 4 名が伊平屋村役場を訪れ、会計課、住民課の職員を対象に実務研修を行った。今回は滞納者財産の調査方法、預金等の差押に関する実務研修を行い、村役場の前でミラーズロックの使い方を学んだ。「税」を公平に負担していただくための手段の一つで、滞納者に対し「ミラーズロック」を使用して自動車を運行・

使用をさせないための措置として、差押、保管命令を行い、「財産差押公示書」を表示し、自主的な納付を促すものである。東江会計課長は「いずれはこのような措置を行う時代が来るかもしれないが、そうならない様、しっかり納税していただきたい。」と話した。



伊平屋天巖戸神社 例大祭

12/3

伊平屋天巖戸神社の例大祭。

平成 29 年 12 月 3 日に建立された伊平屋天巖戸神社の例大祭が執り行われた。例大祭とは、その神社に特別の由緒がある日に執り行われる最も重要な祭祀の事で、伊平屋天巖戸神社では、建立された 12 月 3 日を例大祭と定めている。伊平屋天巖戸神社奉賛会伊禮征男会長をはじめ、商工会伊豆味文徳会長、観光協会名嘉律夫会長らなど約 30 名が参列した。伊平屋天巖戸神社は、建立された 12 月 3 日を例大祭の日と定めている。沖宮上地禰宜は「建立され一年が過ぎましたが、伊平屋島の皆様方と共に少しずつ整備発展させ、大切なお宮として守っていききたいと願っております。」と話した。



伊平屋天巖戸神社が建立された経緯について

1968 年、日本にいくつか存在する「天の岩戸伝説」の一つである伊平屋島クマヤー洞窟において、神のご神託のもと先代沖宮宮司（故）比嘉真忠氏を中心に「天の岩戸開き」の神事と神楽が伊平屋・伊是名両村共催により催さる。その後、クマヤー洞窟内にお宮が建立されたが、それを維持管理する環境が構築されておらず、お宮は朽ち果て台座だけが残った状態でした。平成 28 年に、翌年 29 年酉年までに念頭平松近くに、クマヤー洞窟に静まる神をお祀りする神社を建立せよという御神託のもと、伊平屋島商工会を中心に田名区の関係者と相談しご理解の元、平成 29 年 12 月 3 日に伊平屋天巖戸神社が建立された。

はじまる離島 8 村の水道広域化



離島 8 村の水道サービスの格差（質・量・料金）を解消するため、沖縄県企業局による水道用水供給事業の拡大を図ります。

離島水道の課題

水道サービスの格差（離島 8 村の課題）

1. 水質管理
2. 濁水、給水制限
3. 水道料金
4. 経営基盤

- 水道サービスに地域間格差があります。
- 特に沖縄本島周辺の離島 8 村は多くの課題があり、その対応が必要となっています。
- 質：水源水質の悪化等への適切な対応に課題
- 量：水資源が乏しく、降雨状況によっては給水制限を実施
- 水道料金：本島周辺離島 8 村は特に高く、県平均を上回っている。
- 経営基盤：条件不利性により高コスト構造となるため、水道料金だけでは賄えず、他会計からの繰入に依存

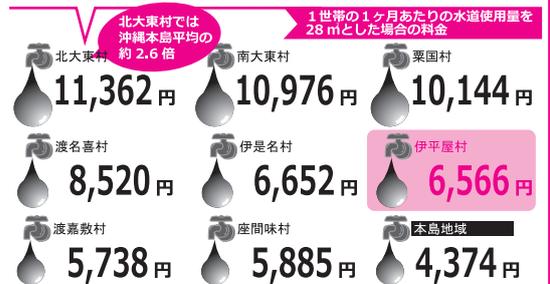
水道広域化の推進

- 県企業局が水源から浄水処理までを担い、沖縄本島と同等の条件で離島 8 村に水道水を供給。
- 水道広域化の実施にあたっては、老朽化した施設の改良や浄水処理方法の見直し等、施設整備が必要。
- 粟国村については、必要な施設整備が完了し、平成 30 年 3 月 1 日から供給開始。
- 残り 7 村についても平成 33 年度までに供給開始できるよう施設整備を推進。

◎ 離島における給水制限の事例



◎ 離島 8 村と沖縄本島の水道料金



【お問い合わせ】

伊平屋村役場 建設課 TEL0980-46-2176

歴史民俗資料館よりお知らせ！

「沖縄県立博物館・美術館 第11回移動展 in 伊平屋島」

会期：平成31年1月18日（金）～20日（日）／午前9時～午後5時

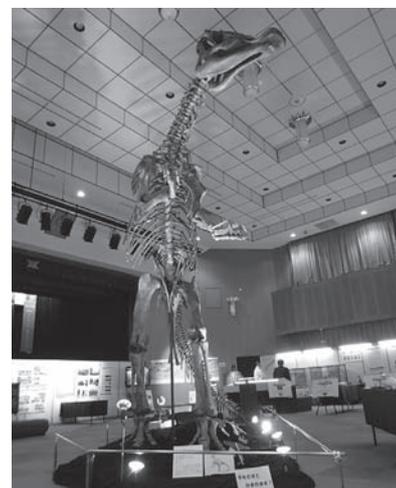
場所：伊平屋村産業連携拠点センター

入場無料

1月18日（金）はオープニングセレモニーや博物館長の田名真之氏の特別講演会が開催されます。

その他、美術館によるワークショップや博物館職員による野外観察会など参加できる催しがございます。

写真の恐竜の骨・サウロフスは今回の移動展が最後の展示になります。



「第24回沖縄県中学校総合文化祭・第9回伊平屋移動展」

会期：平成31年1月11日（金）～14日（月・祝）

場所：伊平屋村離島総合センター・大ホール

入場無料

内容：沖縄県内の中学生の書道・絵画などの優秀作品

「第1回 東恩納安弘 書道展」

会期：平成31年1月11日（金）～14日（月・祝）

場所：伊平屋村離島総合センター・大ホール

入場無料：「第24回沖縄県中学校総合文化祭・第9回伊平屋移動展」と同時開催

内容：村出身者の東恩納安弘氏の書道展

建設課からのお知らせ

水道の開栓・中止・その他変更は**申請書**での申請が必要になります。早めに申請をお願いします。



※申請書は建設課窓口まで

【お問い合わせ】TEL:0980-46-2176

**水道料金のお支払いは
口座振替が便利です**

沖縄県農業協同組合・ゆうちょ銀行



消防設備士試験

◎試験日：3月3日（日）

◎試験の種類：甲種（特類、第1類～第5類）、乙種（第1類～第7類）

◎試験会場：沖縄国際大学

◎願書受付期間：1月24日（木）～1月31日（木）

◎願書配布先：各消防本部予防課、県宮古事務所総務課、県八重山事務所総務課、（一消）消防試験研究センター

※電子申請できます。ホームページをご覧ください。ホームページ：<http://www.shoubo-shiken.or.jp>

【お問い合わせ】（一財）消防試験研究センター沖縄県支部

〒900-0029 那覇市旭町116-37 自治会館6階 TEL:098-941-5201

労働安全衛生法に基づく平成31年1月講習会のご案内

平成30年12月5日
（一社）沖縄県労働基準協会

講習会名	受講料	定員	日時	会場	備考
有機溶剤作業主任者技能講習	¥12,744 (テキスト代込)	40名	1/22 (火) 9:00～16:00 1/23 (水) 9:00～17:00	学科 北部会館3階 (名護市宇茂佐の森5-2-7)	有機溶剤を製造、もしくは取り扱う作業に労働者を就かせる場合

※申込みは先着順の受付とし、定員になり次第締め切らせて頂きます。

※受講者が少ない場合は、中止又は延期になる場合があります。予めご了承下さい。

※顔写真2枚（縦3cm×横2.4cm）必要となりますのでお申し込み時に提出して下さい。

※受付後の申込書と受講料はお返しいたしません。講習日程の振替も行いませんので、キャンセルや遅刻、欠席をしないようご注意ください。

お問い合わせ先

（一社）沖縄県労働基準協会 北部支部
名護市宇茂佐の森5-2-7（北部会館4階）
TEL 0980-54-4700
FAX 0980-52-7004

2月出張車検の予約が始まります！

車検予約日：1月5日(土)～2月5日(火)

車検検査日：2月19日(火)・20日(水)



※有効期限2ヵ月前から車検が受けられるようになりました。

今回の車検検査日は5月を予定しています。

【お問い合わせ】三社自動車 TEL:0980-46-2326

1月31日(木)は納期限です！

- ①村県民税(第4期分)
- ②国民健康保険料(第5期分)
- ③後期高齢保険料(第7期分)

	1月31日(木)	2月28日(木)	3月29日(金)
固定資産税		4期	
村・県民税	4期		
国民健康保険料	5期	6期	
後期高齢保険料	7期	8期	9期

【お問い合わせ】

固定資産税・村県民税は、

会計課 TEL:0980-46-2834

国民健康保険料・後期高齢保険料は、

住民課 TEL:0980-46-2142

平成31年度の伊平屋保育所入所申込について

1月15日より保育所入所申込の受付が始まります！

平成31年度の伊平屋保育所入所申込を受け付けします。

受付期間：平成30年1月15日(火)～2月8日(金)

※土日祝日を除きます。

入所申込書等の書類は役場住民課もしくは伊平屋保育所に設置しています。

詳細は役場住民課にお問い合わせください。

【お問い合わせ】伊平屋村役場 住民課 児童福祉係

TEL:0980-46-2142

危険物取扱者試験

◎試験日：2月17日(日)

◎試験の種類：甲種、乙種(第1類～第6類)、丙種

◎試験会場：南部農林高校、琉球大学、北部農林高校、宮古工業高校、八重山農林高校

◎願書受付期間：1月10日(木)～1月18日(木)

◎願書配布先：各消防本部予防課、県宮古事務所総務課、県八重山事務所総務課、(一消)消防試験研究センター

※電子申請できません。ホームページをご覧ください。

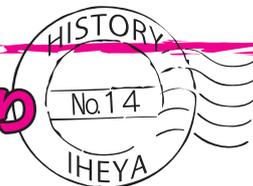
ホームページ：<http://www.shoubo-shiken.or.jp>

【お問い合わせ】(一財)消防試験研究センター沖縄県支部

〒900-0029 那覇市旭町116-37 自治会館6階

TEL:098-941-5201

歴史民俗資料館だより



イザリ

村民のみなさま、あけましておめでとうございます。今年も資料館活動へのご支援よろしくお祈りします。

今冬は12月になっても夏日が続いていました。このような暖かい冬は屋外での活動もおっくうにならず、暑くもなく過ごしやすいものです。

今回は、資料館で所蔵している「昔の道具」から、冬の生活で大活躍した物をご紹介しますと思います。伊平屋での冬の夜の楽しみと言えば、夜の漁「イザリ」ではないでしょうか？

冬の夜の海でイノーの先に白く明るいLEDライトが点々とともり、ゆっくりゆっくりと移動していくのは伊平屋の風物詩となっています。現在では手軽になったイザリ・ライトですがその昔は石油を燃料とした石油ランプを使用していました。写真はその石油ランプ(テーランプ)です。では、石油の無かった時代は「イザリ」が無かったかと言えば、そうではないようです。伊平屋島民俗散歩(上江洲均著)によれば、ススキの枯れ茎を10本程度束ねた物(これを「テー」という)に火をつけて、イザリの明かりとしていたようです。このテーを一夜に10束も使うことがあったようです。他にもリュウキュウマツの芯(赤身の部分)を使った例もあったようです。

時代は変わり、道具は変わっても住民のイザリ好きは昔から受け継がれたもののようです。



第27回新春トリムマラソン開催！！！！！！



開催日：2019年1月12日(土)

募集〆切：1月9日(水)まで

コース：① 3キロコース

② 5キロコース

③ 10キロコース

事前に自分の目標タイムを定め、そのタイムにどのくらい近かったかを競うトリムの順位もあり。



【お問い合わせ】伊平屋村教育委員会

詳しくは伊平屋村教育委員会まで、お問い合わせ下さい。

TEL:0980-46-2003

伊平屋村の行事予定表 schedule

1月 January		
1日	火	元日 成人式
4日	金	仕事始め
7日	月	3学期始業式(3校)
9日	水	保育所もちつき 新春の集い
10日	木	ミニデイ(田名) 出初め式
11日	金	ミニデイ(前泊)
12日	土	第27回新春いへやトリムマラソン大会
14日	月	成人の日
15日	火	ミニデイ(我喜屋)
16日	水	伝統文化の日 ミニデイ(島尻) 弁当の日 十六日
20日	日	二十日正月
24日	木	境港交流学习(~28日) ミニデイ(田名)
25日	金	ミニデイ(前泊)
26日	土	第3回伊平屋ヴィレッジトレイル
28日	月	ミニデイ(野甫)
29日	火	ミニデイ(我喜屋)
30日	水	ミニデイ(島尻)
31日	木	国保税納期限(第5期分) 村県民税納期限(第4期分)

2月 February		
1日	金	保育所節分
2日	土	伝統文化学習発表会
5日	火	予防接種 ミニデイ(我喜屋)
6日	水	ミニデイ(島尻) 伝統文化の日
8日	金	第2回伊平屋村観光・物産と芸能フェア(~10日)
11日	月	建国記念の日
13日	水	乳幼児健診
14日	木	ミニデイ(田名)
15日	金	ミニデイ(前泊) こころの健康相談(PM)
16日	土	こころの健康相談(AM)
19日	火	予防接種 ミニデイ(我喜屋)
20日	水	ミニデイ(島尻) 弁当の日
25日	月	ミニデイ(野甫)
28日	木	ミニデイ(田名) 国保税納期限(第6期分) 固定資産税納期限(第4期分)

伊平屋村人口動態(平成30年11月末現在)

総人口 1,250(+5) / 男 674(+1) / 女 576(+4) / 世帯数 589(+1)

表紙写真：2017年12月～2018年11月生まれの子どもたち

伊平屋村HPへ
ジャンプできます

